



ラバーダム



導水管

元三田文化協会会長
山口武宏

水力発電所は公害がほとんどなく環境にやさしい素晴らしい発電所です。普段は無人で、残念ながら立ち入りはできません。ゴムで堰き止めたラバーダムと導水管の写真を紹介します。

三田に水力発電所が？

三田こぼれ話

武ちゃんの第4話



三田駅近くに石炭火力発電所が出来たのは1910(明治43)年のことですが、その7年後の1917(大正6)年に小規模な水力発電所が三田に完成したことをご存じでしょうか。

場所は清流・羽束川上流にある小栢野外センター近辺です。関西電力が管理しているこの羽束川発電所は450kWという小規模な施設ですが、今も現役で稼働しておりこの地区300軒程度に電力を供給しています。

声の議会だより



「音訳ボランティア ともしび」の皆さまのご協力により、「三田市議会だより つなぐ」を音声化した「声の議会だより つなぐ」を、市ホームページで配信しています。ぜひご利用ください。

右記二次元コードからご利用いただけます。



※音声を聞くためには、MP3を再生するソフトが必要です。

3月定例会は2月17日に開会予定です

2/17(火)	10:00~	本会議
2/18(水)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会
	終了後	経営政策常任委員会
2/19(木)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会
	終了後	福祉教育常任委員会
2/20(金)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会
	終了後	生活地域常任委員会
2/24(火)	13:30~	予算決算常任委員会 討論・表決(令和7年度補正予算)
3/ 4(水)	10:00~	本会議 一般質問(代表質問)
3/ 5(木)	10:00~	本会議 一般質問(代表質問)、委員会審査報告・質疑・討論・表決(令和7年度関連議案)
3/ 9(月)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会(令和8年度予算審査)
3/10(火)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会(令和8年度予算審査)
3/11(水)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会(令和8年度予算審査)
3/12(木)	9:20~	予算決算常任委員会 総括質疑(令和8年度予算審査)
3/13(金)	14:00~	予算決算常任委員会 討論・表決(令和8年度予算)
3/25(水)	10:00~	本会議 委員会審査報告・質疑・討論・表決

*上記予定は、変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。本会議は市役所6階議場で、常任委員会は6階委員会室で開催予定です。

表紙紹介 三田いちご

市内の観光いちご園やスイーツ店では、新鮮で美味しい三田いちごが楽しめます。甘みと酸味のバランスが良い章姫や、真っ赤で甘みの強い紅ほっぺのほか、さちのか、紅クイーン、あすカルビー、パールホワイトなど、さまざまな品種をぜひ味わってみてくださいね。

三田市在住のイラストレーター、宮館みえりさんに描いていただきました。

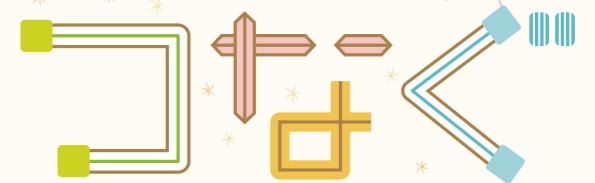


あらゆる人と共に...



2月号
2026
vol.186

三田市議会だより



フラワータウン市民センター移転関連予算案\12月定例会の結果\一般質問\会派要望



※表紙紹介は裏表紙をご覧ください。

三田市議会だより つなぐ 2026.2 vol.186

〒669-1595 三田市三輪2-1-1
TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992
✉ gikai_u@city.sanda.lg.jp

市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gikai/index.html

三田市議会HP



広報委員会

[委員長] 大西雅子 [副委員長] 福本愛
[委員] 大西憲司 假屋浩司 水元サユミ 小山裕久

編集後記

冬本番の寒さが続く時期ですが、下旬には春の兆しが見え始めてきます。議会ではこの2月下旬から3月定例会が始まり、令和8年度の予算審議を行います。審議内容は「つなぐ」に掲載してまいります。(大西雅子)



この広報紙は環境保護のため、植物油インキを使用しています。

25議8-029A4

☆☆ SNSで議会情報を発信中! ☆☆

You Tube
本会議の録画映像を公開しています。

Facebook
市議会の日程やお知らせなどを投稿しています。



SANDA CITY COUNCIL

フラワータウン市民センター移転関連補正予算案、再び否決

フラワータウン市民センターを新商業施設内へ移転する計画に関連した一般会計補正予算案が、9月定例会で否決された議案内容を修正の上、再提出されました。採決の結果、賛成少数で再び否決されました。

11/27 本会議(第1日)

議案第104号「令和7年度一般会計補正予算案(第7号)」が追加提出され、市長提案理由説明が行われました。フラワータウン市民センターを新商業施設内へ移転する計画に関連する議案で、9月定例会における否決を受け、移転計画を一部修正の上、再提出されたものです。中田議員・長尾議員・今北議員より、議案に対する総括質疑が行われた後、予算決算常任委員会へ付託されました。

議案第104号 令和7年度一般会計補正予算(第7号)の内容

フラワータウンセンター地区に新たな魅力を創出するため、イオンリテール(株)が進める新商業施設の整備にあわせて市民センター機能を有する新公共施設を整備するもの

フラワータウン市民センター移転計画修正案の内容

- 多世代交流館子育て交流ひろばの現状維持
- ミニホール機能の具備に伴う費用増(約5,000万円)
- 跡地活用のための調査費は上程しない など

総括質疑の内容

- 議** 住民へ向けた財政効果に関する発言の変化について伺う。(さんだの未来 中田哲)
- 市** 多くの財政効果を求めなければならぬとの思いから、答弁ではプラスの効果があると断定し、偏った情報が伝わったこととお詫びする。一方で、アンケートでは利便性向上やフラワータウン活性化の期待が多く、財政効果だけでなくまちの将来像を踏まえての回答と受け止めている。フラワータウンをより良くしたいという思いで検討してきたもので、意見を踏まえ今後の進め方に丁寧に反映させていく。(田村市長)
- 議** 商業施設の開業時期に及ぼす影響への考えと、9月定例会での否決以降、修正案に対する市民意見交換会を開催しなかったことについて伺う。(日本共産党三田市議団 長尾明憲)
- 市** 令和9年春の開業時期にあわせた移転を前提に事業者と調整を進めてきており、全体の開業時期への影響はあると考えるが明確に把握していない。また、アンケートや説明会で把握した市民ニーズや機能像を軸に、具体的な施設の利活用や運営方法について利用団体へのヒアリングを通じ、改めて意見を把握していく。(田村市長)
- 議** 9月定例会で議案第82号が議会の大きな決断で否決となったことの重みについて伺う。(創志会 今北義明)
- 市** イオンリテール(株)の出店計画や市民生活への影響を考慮するあまり、否決当日に10月臨時会に再提案する意向表明と受け取られる発言をしたことや、市民意見の精査・見直しのため10月臨時会での提案を見送り、会期の調整等で迷惑をかけたことは深く反省している。今後は議会や市民への丁寧な説明を含め、フラワータウン再生に向け改めて誠心誠意、尽くしていく。(田村市長)

12/2 予算決算常任委員会(全体会)での参考人招致に係る審査の概要

委=委員 参=参考人

- イオンリテール(株)開発部長の中本太郎氏を参考人として招致し、参考人による意見陳述の後、質疑を行いました。
- 委** 否決された場合の開業への影響は。
- 参** 令和5年8月に社内の機関決定で(株)北摂コミュニティ開発センターとの土地賃貸借契約の決議を受け、予約契約を締結しているが、行政施設を3階に配置する経営計画の前提が覆るといった自社決議は白紙となり、出店の可否を含め再度決議が必要となる。
- 委** (株)北摂コミュニティ開発センターとの賃貸借契約の期間は。
- 参** 民間同士の契約であり詳細はいえないが、長期契約が前提の予約契約を締結しており、少なくとも今回の建物の耐用年数である30年間は営業を続ける覚悟である。
- 委** いったん白紙となり、出店の可否や店舗の規模縮小が検討される場合の開業の遅れは。
- 参** 設計変更や店舗の規模縮小について、社内の議論などのプロセスを経る必要があるため、仮に出店を決断する場合でも一定期間遅れることは避けられない。
- 委** フラワータウンの現状と課題への見解は。また、出店に際しどのような特色を打ち出し、課題解決に寄与するのか。
- 参** 課題として、高齢化が進んでいるものの都市部への通勤圏にあり駅近という立地を生かし、今後も成長できるエリアと捉えており、大きな投資を決断した。また、1・2階部分に近隣住民が頻りに利用できる店舗づくりを目指し、「そよら」という子育て世代を中心に集える施設の開発を進めているが、住民が集まり会議や交流を行う機能は自社のみでは担えず、行政施設と連携し、地域の利便性を高める計画を提案した。
- 委** 防災拠点機能について、どのような協議をしているのか。
- 参** 自社の店舗機能として、防災時に商品を提供し、場をしのぐ役割を担える。また、3階部分に直接アクセスできる階段を設ける設計を進めており、建物の所有者として、店舗と行政施設が一体となり防災機能を発揮できるよう、設計・議論を進めている。

12/3 予算決算常任委員会(生活地域分科会)での質疑

委=委員 市=市職員

- 委** 現市民センターの維持に要する費用と比較して30年で約1億5,000万円、年間約3,000万円の増と財政負担が懸念される。
- 市** 施設財産の維持より賃借契約による施設整備の方が、長期的負担軽減が可能である。また、商業施設と市民センターの利用による相乗効果やまちの活性化が期待できる。
- 委** 公共施設の縮充の考え方と合っているのか。
- 市** 公共施設全体における縮充は長期的に実施すべきであるが、地域住民の意見を踏まえ面積は大幅に減らさない規模とし、多世代交流館を維持する必要があると判断した。
- 委** 内装等へのさらなる市民意見の反映と周知の必要性は。
- 市** 引き続き市民の声の聞き取りと丁寧な説明の機会を設けるとともに、可能な限り意見を取り入れる。
- 委** ミニホールの可動式舞台の大きさと収容人数は。
- 市** 舞台は奥行3メートル、横幅9メートル、収容人数100人程度を想定している。
- 委** 現市民センターのホールは中学生の発表会など全市民的な利用もあり、学校関係者を含む地域住民以外の意向調査も必要では。
- 市** 発表会等にはミニホールが活用できる。地域住民へのアンケートと説明会を第一に実施したが、登録団体や利用団体への個別ヒアリングも実施中である。

- 委** 多世代交流館の移転は見送りながらも、子ども向け大型遊具を設置するのか。
- 市** 気候変動に対応した屋内施設を求める市民意見を踏まえ、多世代交流館の子育て交流ひろばは未就学児、新施設は小学生以上と対象を機能分担する。
- 委** 9月定例会における議案否決という議会判断の重みの受け止めについて、現市民センター存続で周辺整備を行う方向で検討したのか。
- 市** 議決の重みは真摯に受け止め、市民意見の聴取と説明に取り組んできた。移転見送りによる新商業施設出店の白紙や国交付金の調整が困難となることなどを総合的に判断し、新公共施設の提案に至った。
- 委** 提案や意思決定に関し、イオンリテール(株)への正式な申し入れの前に議会に報告しなかった理由は。
- 市** 結果として申し入れ後の報告となったが、議会の意見を聞きながら進める姿勢が変わりなく、今後も早期の議会報告及び協議に努める。



12/4 予算決算常任委員会(全体会)での審査

自由討議の後に討論・採決を行った結果、可否同数となり、委員長裁決を行った結果、賛成少数で原案否決となりました。

反対討論

- フラワータウン再生をかけた大規模な事業推進において、まずは市民や議会に問い、合意形成を図るべきであった。また、財政負担の懸念もあり、税金の効果的な活用の判断が必要である。
- 否決されれば計画が白紙となる状態を招いたのは当局の調整不足である。また、計画は新市民センターへの移転にとどまり周辺施設の活用や地域活性化への連携が不十分で、複合化だけが目的化している印象を受ける。
- 9月定例会での否決後に現市民センターの存続を検討せず、複合化ありきで進めた姿勢は議会及び市民を軽視していると言わざるを得ない。また、市民の声の集約・反映が不十分で、ホール機能や防災対応の課題もある。さらに、追加負担の懸念もあり費用対効果の面からも合理性に欠け、現市民センターを存続した形で、フラワータウン再生を目指すべき。
- 今回の提案内容に関する市民の声の聴取・反映がされていない状況では、市民の大半が望む内容とはいえない。また、財政面においても赤字になることが明らかであり、現市民センターの存続を検討すべき。

賛成討論

- 否決となれば、出店の可否を含めた白紙やさらなる開業時期の遅延が生じる可能性があり、これ以上の計画遅延は望ましくない。
- 現市民センターを残しても、にぎわい創出や人口流入などの本質的な課題は解決しない。施設整備費用だけでなく総合的な視点でコストを評価し、複合化によるまちづくりへの貢献度も考慮すべき。
- 参考人の陳述では、当局とイオンリテール(株)が伴走するパートナーであり、市民とともにフラワータウン再生を考える仲間としての姿勢を誠実に感じた。開業時期の遅れや空き地化は市民の望む姿ではなく、令和9年夏の開業に向け協力することが市民の利益につながる。
- 利便性の向上とにぎわいを生み出し、地域活性化を図るという目的はフラワータウン再生ビジョンとも一致している。アンケートからも早期の商業施設開業が望まれており、計画実現が住民の不安軽減や地域活力につながる。フラワータウン再生のための未来への投資であり、出店計画の延期や白紙を防ぎ、判断を先送りすべきではない。

12/23 本会議(第5日)の経過

幸田予算決算常任委員会委員長より、委員会での審査経過と結果報告が行われました。その後、長谷川議員・村手議員・山崎議員による賛成討論及び長尾議員・橋本議員・中田議員による反対討論において、予算決算常任委員会全体会での討論と同一内容の意見表明がなされました。採決を行った結果、賛成10・反対11の賛成少数により否決となりました。(各議員の賛否は4ページをご覧ください。)

令和7年 12月定例会(第384回)の結果

11月27日～12月23日(会期:27日間)

市長提出議案 29件
議員提出議案 1件
請願 7件
陳情 1件



全議員が賛成した議案

予算 令和7年度一般会計補正予算(第6号) など予算案件7件

条例 まなびと交流・共創施設条例の制定 など条例案件11件

その他 建物の床の取得 など事件決議4件、監査委員の選任同意 など人事案件4件

議会内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

全議員が継続審査とした請願

請願 市民センター窓口サービスの縮小・改定方針の中止を求める請願 請願1件

賛否が分かれた議案・請願(肥後淳三議員は、議長のため表決に加わりません)

賛成:○ 反対:×

件名	議員名														結果							
	創志会				さんだの未来				市民とともに		公明党		日本共産党三田市議団			日本維新の会三田						
	幸田安司	今北義明	小杉崇浩	坪之内幸司	福田秀章	假屋浩司	佐貫尚子	中田哲	関口正人	小山裕久	橋本維文	大西憲司	山崎文	福田佳則	村手秀樹	大西雅子	長尾明憲	水元サユミ	木村雅人	福本愛	長谷川良果	
予算	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成10人 反対11人 否決
条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 可決
事件決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 可決
決議案	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成13人 反対8人 可決
請願	市役所の開庁時間の短縮を元の時間に戻すことを求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択
	市民病院の職員全員の分限免職回避を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択
	幼稚園、保育所、学校の統廃合を一方的に行わないことを求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択
	ごみ処理手数料の導入をしないことを求める請願(閉会中の継続審査に付することについて)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
市民病院の指定管理者制度による管理運営を行わないことを求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択
市民病院整備費返済分を含む長期の財政収支見込の公表を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択

以下の議案3件について、討論を行いました。
議案第94号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第100号 公の施設の区域外設置に関する協議について
議案第104号 令和7年度一般会計補正予算(第7号)
※議案第104号の詳細は、2～3ページをご覧ください。

質問

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

12月定例会では、16人の議員が一般質問(個人質問)をしました。質問時間は、答弁の時間を合わせて1人40分です。



三田市議会会議録

検索



三田市議会ユーチューブチャンネル

検索



※本会議の録画映像を公開しています。

今北 義明 議員



創志会

村手 秀樹 議員



公明党

まちの再生

(株)サンフラワーの諸課題への見解は

議員 (株)サンフラワーの決算は企業として大変厳しい状況であり、高度化資金貸付については令和7年度分4,000万円の返済が難しく延滞金も発生する。今後の返済・再建計画が不可欠であり、老朽化した建物や設備の改修も含め、市の見解を伺う。

経営再建には市の支援が必要と考える

市 負債の返済計画は、県等への相談を進めている。また、早急に設備全体の状況調査を実施した上で安全対策を講じ、経営再建に向けた協議を進める必要がある。筆頭株主である市として経営安定化を図るため、早急に支援の方向性を見極めていく。(辻下産業振興部長)

他の質問 雇用推進に関わる諸問題について



説明 *高度化資金貸付: 中小企業の組織する事業協働組合等が共同化や高度化を図るためなどに行う事業に対する貸付金制度

公共工事

公共工事における歳出削減に向けた取組を

議員 市の財政収支に大きく影響する公共工事においては、基本計画・基本設計・実施設計の各段階でコスト意識を持ち、バリューエンジニアリングを継続的に行い、建設コストの削減に取り組むべきと考えるが、市の見解を伺う。

さらに効果的な歳出削減を目指していく

市 大型公共施設の整備は、基本計画段階から綿密な協議を行い、市職員が設計コンサルタントの業務に主体的に関与することでトータルコストの削減を図ってきたが、今後もバリューエンジニアリングなどを活用し、さらに効果的な歳出削減を目指していく。(田村市長)

他の質問 生活利便性向上への取組について



説明 *バリューエンジニアリング: 求められる機能や品質を維持したままコストの削減を図る手法



小山 裕久 議員
さんの未来



農業

認定新規就農者の年齢制限の緩和を

議員 今後、耕作が出来ない農地が今まで以上に増加すると考えられ、その解消には新しく農業を志す人の増加が重要である。市の認定新規就農者の年齢制限は45歳未満であるが、年齢制限を緩和し、新規就農者の増加につなげるべきでは。

令和7年度中に要件緩和を実現する

市 担い手確保には新規就農者の育成が不可欠であり、市への相談件数も増加している。年齢制限の緩和は市の実情に即した効果的な手法であるため、見直しに向け国との協議を進めている。令和7年度中に要件緩和が実現できるよう、スピード感を持って取組を進める。(田村市長)

他の質問 JR福知山線複線化工事に係る貸付金償還金について

佐貫 尚子 議員
さんの未来



情報公表

市民への行政情報公表の方針と体制の改善を

議員 市民への情報公表は、迅速で分かりやすく誤解のない発信が不可欠であるが、三田市未来への財政ロードマップ(案)の公表では、ごみ袋の値上げの検討が市民に混乱を招いた。情報公表にあたり、リスク評価や関係部署との連携など発信体制の改善が必要では。

市民目線に立った情報発信に努めていく

市 市民に影響を及ぼす政策形成や情報発信は、リスクのチェックや影響の予測、対策の要否を意識し、広報担当を含む関係部署との連携を強化して取り組む。市民が情報を正確かつ安心して受け取れるよう、市民目線での情報発信に努める。(西田副市長)

他の質問 市道区画線の剥離対策について 他

福田 秀章 議員
創志会



農業

10年先を見据えた農業振興に向けての取組は

議員 基幹産業である農業を取り巻く課題に対し、将来の展望を示す具体的な方向性が見出せていないのが現状ではないか。第5次三田市農業基本計画で描くビジョンに向けて、どのように取り組んでいくのか。

三田の農の将来像実現に向け、取組を推進する

市 市の農業は一律的な施策を講じることで課題が解決するものではなく、それぞれの地域の実情にあった対策を効果的に講じる必要がある。第5次三田市農業基本計画で目指す三田の農の将来像実現に向け、農業を持続していく対策など多様な角度から推進する。

(田村市長)

他の質問 第5次三田市総合計画後期基本計画の策定について 他

木村 雅人 議員
日本共産党三田市議団



財政

毎年3億円の基金積立は毎年度の予算を圧迫するのでは

議員 新病院整備費の企業債元利償還がピークとなる時期に備え、今後10年間にわたり毎年3億円を基金に積み立てるとしているが、歳出予算枠を毎年3億円分圧縮することとなり、市民サービスの低下・削減が生じるのでは。

重要な市民サービスを守るための未来への投資

市 積み立ての実施は、予算編成の中であらかじめ次年度に必要な市民サービスの質と量を見積もり、その歳入歳出予算を確保した上で行うものであり、市民サービスの低下には当たらず、安定的な医療サービスの提供のための未来への投資と考える。(田村市長)

他の質問 三田市民病院の経営状況について 他

假屋 浩司 議員
創志会



定住支援

2世代定住支援を促進する市の方針は

議員 三田で育った人が住み続ける2世代定住は人口減少対策として重要であり、子育て支援や地域維持など多面的な効果を生み出す。本施策の位置付けと独自支援について、市の見解を伺う。

住み替え支援補助で市内定住を後押しする

市 Uターン促進に加え、市内で育った若者の定住を優先事項として、住宅取得を支援する「住み替え支援補助事業」を展開し、転入だけでなく市内の賃貸住宅から持ち家に住み替える場合も対象とするなど、市内定住を直接的に後押ししている。今後も支援を強化し、世代を超えて選ばれるまちの実現に取り組む。(田村市長)

他の質問 市内水道事業者の公共工事について

福田 佳則 議員
公明党



財政

重点支援地方交付金の活用は

議員 重点支援地方交付金は、単なる一時的な救済的給付にとどまらず多様な用途があるが、活用において、どの層を重点支援対象としているのか。また、スピード感ある対応について、市の見解を伺う。

速やかな事業実施に向け、検討を進める

市 国の特別加算の趣旨も踏まえ、まずは支援の効果が市民の日常の隅々にまで及ぶ事業をできる限り速やかに実施することが肝要である。商品券や現金給付、公共料金の減免など、引き続き事業手法等について鋭意検討を進め、12月定例会会期中に改めて提案したい。(田村市長)

他の質問 防災・災害対策について 他

山崎 丈 議員
市民とともに



教育環境

学校への不当要求に対する支援は

議員 カスタマーハラスメントによって年度途中で担任が交代し、子どもたちや保護者が不安を抱える事態を生まないように、どのような取組を行っているのか。

学校を支援する体制を強化している

市 県が実施する弁護士による法律相談会に学校が直接相談できる体制が整っている。さらに、市の「学校サポート制度」を拡充し、学校に弁護士を派遣して法的な助言が受けられるよう支援する体制を強化している。また、電話主装置を大規模改修時などに順次更新しており、電話の録音など使用する機能や運用は、学校現場の意見を聞きながら検討している。

(山本学校教育部長)

他の質問 地域内公共交通について 他

坪之内 幸司 議員
創志会



学校再編

新統合中学校建設事業の進捗と今後の進め方は

議員 令和13年4月の新統合中学校開校に向けた現在の進捗状況や見通し、今後の進め方について伺う。

基本構想及び基本計画の公表と情報発信に努める

市 現在、基本構想及び基本計画について令和7年度内の公表に向けた取組を進めると同時に、用地取得に向けた調整や物件調査等を行っており、令和8年度からは建設の基本設計・実施設計に着手できるよう準備を進める。今後、市民意見の募集について市の広報誌やホームページに掲載するとともに対象校区の保護者への周知や説明会の開催など、適宜適切に情報を発信していく。(加嶋教育長)

他の質問 農畜産業の振興について 他

長谷川 良果 議員
日本維新の会 三田



移住定住

若者や女性に選ばれる 三田へ

議員 若者や女性の転出超過が続く中、市が将来にわたり持続的に発展するためには、住み続けたい、移り住みたいと思える暮らしの魅力向上と働く場の両立が不可欠であるが、移住定住の施策について、市の見解を伺う。

「住む」と「働く」が実現できる環境をつくる

市 6つの無料化等の子育て支援の充実や住宅取得費補助における市内企業就業者への加算など「住む」と「働く」が実現できる環境づくりを進める。また、自己実現プログラムを通じ、まちへの愛着育成や地域と関わる機会の創出を図るとともに、起業や就業に向けた若者の育成・支援に取り組む。(田村市長)

他の質問 三田市の今後の産業振興について 他

中田 哲 議員
さんだの未来



産業・雇用

第三テクノパーク構想で 産業誘致、雇用創出を

議員 若者世帯の流入には安定した雇用創出が不可欠であり、近年の物流・生産・研究拠点の国内立地需要の高まりから、第三テクノパーク構想においては、交通結節点としての優位性や大学近接の強みを生かし、重点産業分野の設定や産学連携の視点を戦略的に盛り込むべきでは。

再点検と研究を進める

市 事業化推進は当面保留であるが、産業団地の整備は、産業振興及び経済活性化により雇用創出も期待できるため、整備手法や候補地等も含め再点検し、企業誘致における産学連携や研究機関の整備の方向性についても研究を進める。(辻下産業振興部長)

他の質問 教育の課題について 他

橋本 維文 議員
市民とともに



地域活動
支援

公園管理報奨金制度の 拡充を

議員 地域活動団体が公園管理を担う公園管理報奨金制度は、地域への愛着を高め、業務委託より低廉に実施できる仕組みであるが、多くの団体が物価高騰や担い手不足により活動継続が難しくなっている。報奨金単価の見直しなど、制度の拡充ができないか。

報奨金単価の見直し等を検討する

市 地域活動団体のモチベーションを維持し、未協定の公園や緑地への活動意欲を高めるため、報奨金単価の見直しを進めていく。また、公園周辺の敷地外清掃への助成や公園面積区分についても、ヒアリングを行いながら段階的に見直しを検討する。(高寺都市整備部長)

他の質問 市職員の人材確保について 他

長尾 明憲 議員
日本共産党三田市議団



幼稚園
民営化

公立幼稚園の民営化 検討方針は撤回を

議員 三田市未来への財政ロードマップ(案)において、公立幼稚園を民営化する検討方針が出されたが、セーフティネットの役割など公立幼稚園でなければ果たせない役割がある。これまでも政策保育の支援はあったが十分ではなく、民営化検討方針は撤回すべきでは。

民間運営も選択肢の一つとして検討する

市 認定こども園への移行には担い手の確保が大きな課題となる。市内には学校法人等の民間が運営する認定こども園が10施設あり、支援や配慮が必要な子どもの受け入れも行っている。地域や保護者等の意見を聞きながら民間運営も選択肢の一つとして検討する。(田村市長)

他の質問 学校再編問題について 他

関口 正人 議員
さんだの未来



市民病院

市民病院の跡地利用の 再公募は

議員 市民病院の跡地利用の応募がなかったが、要因をどのように考えているか。最低売却額20億2,000万円を見直す考えはあるか。また、課題をいつまでに整理し、再度公募を行う時期はどのように想定しているか。

令和8年4月下旬を目途に再公募したい

市 応募がなかった主な要因は、単独応募が難しく応募期間が短かったこと、最低売却額の高さや事業着手までの期間の長さなどであると考えられる。最低売却額の見直しは、課題の一つとして検討する。また、事業者向け説明会を開催の上、令和8年4月下旬を目途に再公募したい。(田村市長)

他の質問 地産地消の拡大について 他

大西 憲司 議員
市民とともに



子育て
支援

育児休業期間の保育施設 在園継続条件の緩和を

議員 少子高齢化に伴って保育施設にも少しずつ空きが発生していく状況であるため、保育施設の在園継続条件の制限を緩和し、育児休業期間などのさまざまな状況下であっても保護者が自由な選択ができるよう、在園継続を可能にすべきと考えるが、市の見解を伺う。

令和8年9月の募集開始に向け、検討を進める

市 現在の社会情勢は認識しており、制度の見直しは必要と考えている。待機児童の状況を見定め、市内施設運営事業者の意見を伺いながら検討を進める。(田村市長)
早ければ令和9年度入所の募集開始時期である令和8年9月に向けて検討を進める。(松本子ども・未来部長)

他の質問 クマの目撃情報への対応について 他

市民との意見交換会について ～変更のお知らせ～



議会改革推進会議で、市民との意見交換について検証を重ね、いくつかの変更を決定いたしましたので、お知らせします。

1) 議会報告会の開催時期変更について

令和8年度については、これまでの4月から7月に時期を移し、開催する予定です。
三田市議会だより「つなぐ」6月号やホームページなどで詳細をお知らせします。

2) 「伺います!さんだ未来トーク」の申込受付休止について

事業内容について再度検証するため、令和7年12月より申込受付を一時休止しています。再開時期はホームページでお知らせする予定です。

3) 市政相談の廃止について

平成27年より三田市議会は市政相談を行ってまいりましたが、近年、申込が非常に低調であり、また、直接市議会議員に相談されている状況等を勘案し検討を重ねた結果、令和7年11月をもちまして終了させていただくことになりました。

これからも皆さんにより市議会を身近に感じていただくため、よりよい意見交換のあり方を検証してまいりますので、よろしくお願いいたします。

令和8年度
予算にかかる

市議会

会派要望

市議会では、市が来年度に行う事業等の予算要求の時期に合わせ、市長に対してこれらの予算に市民の意見や要望が反映できるよう、各会派で要望を行っています。その内容の一部をご紹介します。

*各会派の要望を掲載しているため、重複している項目もあります。

三田市 予算要望 検索



創志会

幸田・今北・小杉・坪之内・福田(秀)・假屋 議員



- 〈防災防犯対策〉
アンダーパス水害対策
- 〈市民病院の再編統合〉 早期に実現
- 〈市民病院跡地〉 利用の推進
- 〈地域医療〉 強化と推進
- 〈人口減少対策〉 移住定住施策の充実
- 〈市民に分かりやすい広報の推進・情報共有〉
市民に対し迅速かつ正確な情報の発信
- 〈公共施設・公有地の適正管理と処分〉
施設ごとの方針に沿った迅速な対応
- 〈スポーツ施設の充実・整備〉 経年劣化に対応し、
安全で使いやすいスポーツ施設の維持・管理
- 〈中学校部活動〉 円滑な地域移行
- 〈第三テクノパークの推進〉 早期に実現
- 〈財政健全化〉 財政構造改革の推進
- 〈農業振興と農村保全対策〉 持続可能な農業に対する
支援の充実、有害鳥獣被害対策の強化
- 〈里山の保全管理〉 森林環境譲与税の有効活用
- 〈子育て政策〉 放課後児童クラブの充実・フリースクール等への支援
- 〈孤独・孤立対策〉 相談支援体制と居場所の充実
- 〈認知症対策の充実〉 理解の促進と支援の充実
- 〈市街化調整区域の活性化〉
早期見直し及び弾力的運用の促進
- 〈産業振興〉 (株)サンフラワー安定運営
- 〈健康福祉〉 孤独・孤立対策の充実
- 〈公共交通の整備〉 交通空白地のない地域の実現
- 〈県道市道の未整備箇所の早期整備〉
安全・安心できる道路網整備の推進
- 〈上下水道〉 上下水道管老朽化対策
- 〈消防団組織の強化〉 団員の確保と装備の充実
- 〈不登校・いじめ対策〉 関係機関の連携による不登校と
いじめ対策の充実
- 〈中学校の再編〉 早期に実現

など (全90項目)

さんだの未来

佐貫・中田・関口・小山 議員



- 〈市民生活〉 ● 新三田駅へのエスカレーター設置 ● 交通体制の充実と
地域交通の支援 ● フラワータウン
再生事業の拡充 ● 移住定住促進
- 市道の白線等適正維持管理 ● 街路樹等の植栽管理
- 公園トイレの洋式化 ● 除草報奨金制度の拡大
- 〈教育〉 ● 小中一貫校の研究 ● 不登校児童の別室登校の拡充
- 中学校給食無償化の財源確保 ● 中学校給食のメニュー
の充実 (オーガニック食材) ● 部活動地域展開の生徒
・保護者の負担軽減と情報公開
- 〈福祉・保健〉 ● 医療費無償化への財源確保
- 高齢者等の終活ワンストップ相談窓口の設置
- インフルエンザ・带状疱疹ワクチン接種助成拡大
- 〈医療〉 ● 新病院建設 ● 運営における兵庫県・神戸市との
連携強化 ● 新病院への交通アクセスの充実
- 口腔検診の拡充 ● 市民病院跡地を回復期・地域医療
の拠点として拡充
- 〈農業・産業〉 ● 小規模農家への支援 ● 農産物の販路拡大
- 三田市ならではの起業・産業創出の支援
- 〈観光〉 ● 認定伝統工芸品三田青磁の継承者の育成
- 野外音楽フェス等観光資源の強化
- 〈環境〉 ● 気候変動市民会議の設置
- 新たな再生エネルギーの推進
- 〈総務・危機管理〉 ● 防犯カメラの増設 ● 持ち去りごみの
対策 ● 女性や子育て世帯が働きやすい環境づくり
- 災害時の情報発信のあり方 ● ペット同行避難の研究

など (全85項目)



市民とともに

橋本・大西(憲)・山崎・肥後 議員



- 〈子育て・教育〉
- 学校再編に関係ない空調等の設備改修の推進
- 地域クラブ不参加の子どもたちの居場所づくり
- 〈医療福祉〉 ● 国・県に対しての診療報酬改定の要望
- 周辺市町との医療、福祉連携ビジョンの策定
- 〈公共施設・経営管理〉 ● ドッグランの整備
- 若者が集えるアーバンスポーツなどの施設整備
- 〈農業・商工観光〉 ● オーガニックビレッジ宣言
- 農業者と市民を結びつける事業の展開
- ソーラーシェアリング先進者と農業従事者の
連携強化・キジ養殖による新たな特産の創出
- 〈公共交通〉 ● 新病院への交通アクセス計画の策定
- 公共交通の利用者減少対策や運転手不足の解消
- 〈地域再生〉 ● 草刈り、剪定時期をHP上で公開
- 地域担当職員の地域活動への参画推進
- 〈産業育成〉
- 三田の子どもが三田で就労できる環境づくり
- 雇用の創出のための公共施設の跡地活用
- 〈防災〉 ● 災害時における他市町との連携強化
- 〈人権・共生〉 ● 多文化共生社会の推進
- 情報リテラシー向上のための啓発活動
- 〈行財政〉
- コンビニ、オンライン申請推進の機運醸成
- カスタマーハラスメント防止条例の制定



など (全48項目)

日本維新の会 三田

福本・長谷川 議員



- 地域独自キャッシュレス決済「三田Pay(仮称)」の創設
- 女性起業家支援の充実
- 習い事支援
- 地域クラブ移行に伴う中学生公共交通費補助制度の創設
- 夏休み等の長期休暇中の昼食提供
- 次世代育成のための環境向上と室内あそび場の整備
- グローバル教育の推進
- 防犯カメラの設置強化
- 有機農業の推進と支援
- EBPM(証拠に基づく政策立案)の推進
- 共感型広報の推進
- 新病院における出産環境の充実



など (全47項目)

公明党

福田(佳)・村手・大西(雅) 議員



- 特殊詐欺被害の防止に向け、
官民・関係機関の連携を図り
取組を強化すること
- 地域活動での地縁団体・各種団体の
加入率低下や担い手不足解決に向けた支援に
取り組むこと
- 滞在型観光への転換に官民連携した取組を進め、
宿泊施設や道の駅整備に取り組むこと
- 外国人転入者が安心して暮らしていけるよう、
言葉や生活習慣指導等の適切な支援を行うこと
- 健康保持への予防医療を進めるため、SIB手法等
も生かし健康意識向上に取り組むこと
- アンダーパスの冠水時に車の進入禁止を呼び
かけるエア遮断機の導入に向け取り組むこと
- 市民病院は24時間断らない救急を堅持し、
市民が安心できる医療をさらに推進すること
- 新病院設立後の現市民病院跡地の適正・適切な
活用を目指し、安心できる施策とすること
- 給食センターの調理室や配膳室での熱中症対策
のため、空調設備の改善を図ること



など (全144項目)

日本共産党三田市議団

長尾・水元・木村 議員



- 多額の負担となる市民病院の統廃
合はやめること
- 市内各地域から市民病院への直通
バスの整備を
- 物価高騰対策として実態把握と継続的支援を
- 地域の実情に即した交通の導入を行うこと
- 大雨時の排水状況調査を行い、対策を進めること
- ふれあいプールは大規模改修後も存続すること
- 学校再編は住民意見を尊重し一方的にしないこと
- 小学校体育館のエアコン整備を早急に進めること
- 小学校給食を無償化すること
- 所得制限なしで0～2歳児保育を無償化すること
- 中学校区ごとに子どもの居場所を整備すること
- 重度障害者が地域で生活できる場所を作ること
- 介護保険制度利用にかかる地域間格差の解消を
- 市内に看取りのできる施設を誘致すること
- かかりつけ医院が閉院しても医療を守る対策を
- 水道事業民営化につながる施策導入をしないこと
- 公民連携は市が主導権を持ち情報は全て開示を
- 有害鳥獣被害対策の充実を行うこと



など (全182項目)